

令和4年 かけがわ市政10大ニュース

令和4年12月19日
掛川市

順位	項 目
1	台風15号により大きな被害を受ける。(9/23)
2	掛川市初の女性副市長として、1498人の応募者の中から石川紀子氏が選ばれ、DX、働き方改革、ダイバーシティ等を担当する。(4/1)
3	第76回全国茶品評会「深蒸し煎茶の部」で3年連続、通算24回目の産地賞を受賞。(8/23～26日京都府宇治市)
4	市関係スポーツチーム・選手の活躍 ・パラサイクリング 杉浦佳子選手(ロード世界選手権ロードレース優勝(8/14)、タイムトライアル準優勝(8/12)、トラック世界選手権500mタイムトライアル準優勝(10/20)、3000mパーシユート準優勝(10/22)) ・スノーボードアルペン 三木つばき選手(北京五輪出場(2/8)、ワールドカップ初優勝(3/12)、世界ジュニア選手権3冠達成(3/31-4/1)) ・水球 大神幸真選手(掛川西高2年)(第1回FINA水球U-16世界選手権 日本代表チーム第10位(8/21-28)) ・陸上競技やり投げ 増田併介選手(掛川西高3年)(全国高校総体準優勝(8/4)、国民体育大会準優勝(10/9)) ・バレーボール 掛川スベランツァ(全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会 準優勝)
5	新廃棄物処理施設整備方針決定(9/21)
6	第71期王将戦七番勝負第一局が二の丸茶室で開催(1/9～10) 渡辺明王将に挑戦者藤井聡太竜王が勝利。「茶畑ケーキ」や「ふくうめ」のおやつも話題になる。
7	17年ぶりの快挙 第23回静岡県市町対抗駅伝競走大会 市の部第10位入賞
8	掛川市を舞台にしたサッカーアニメ「シュート! Goal to the Future」が放送(7/2～)
9	令和2年度 ごみ排出量少ないランキング1位(人口10万人以上50万人未満の自治体の部)
10	新型コロナウイルス感染症の猛威が継続。(第6波:1～3月、第7波:7～9月 第8波:12月～) 抗原検査キット配布などを行う
11	4年ぶりに地区集会開催「かけがわまちづくりミーティング2022(7/30)&地元ミーティング開催(8～11月)」
12	持続可能な移動交通を目指し 全国初の夜間自動運転実証実験が行われる(8/1～7、12/5～11)
13	平成6年に本格木造で復元された掛川城が、30周年に向け 掛川城天守閣修復工事開始(6月)
14	学校再編計画市民意見交換会9中学校区で開催(7/25～9/5)
15	あらゆる災害に対応する はしご付き消防車が中央消防署へ配属(3/4)
16	スピード感をもって行動することのできるプロフェッショナル人材採用 DX推進委員2名(4月～) 広報戦略担当(7月～)
17	上西郷造成工事着手 大坂土工工業用地西工区造成工事完成(7/15)
18	DX推進計画を策定(10月) デジタルの活用により一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な人の幸せ(Well-being)が実現できる社会を目指す。島田掛川信用金庫と地域産業の活性化に向けたDX推進に取り組むための協定締結
19	「with コロナ」感染予防を徹底し各所で会議やイベントが開催される。 三熊野神社大祭 秋の祭典 フラワーフェスティバル 掛川教育の日など
20	第2次掛川市総合計画【ポストコロナ編】改定。(令和4年度～7年度)
21	千羽すびか保育園・おおぶちそよ風こども園が開園(4/1) 2年連続 国定義務待機児童ゼロ達成
22	物価高騰に伴う各種支援が実施される。 プレミアム付き商品券事業・低所得の子育て世帯への給付金事業・学校給食負担軽減対策事業等
23	県立横須賀高校と県立池新田高校の再編計画が白紙となる
24	全国学力学習状況調査 テスト 中学校でトップクラス 中学では国語数理科で全国平均を大幅に上回る。 小学校でも全国平均を上回る。
25	高校野球市内高等学校が活躍 ・掛川東高校 春の県大会3位 ・掛川西高校 夏の県大会ベスト4
26	中心市街地の空き店舗を活用した起業支援事業及び移住定住支援事業が始まる(6月～)
27	LINEを活用した情報受付デスクの運用開始(4/1～)
28	地域社会の発展地域の人材育成及びスポーツ振興を目的とし、NECプラットフォームズ女子ソフトボール部包括連携協定(10/5)
29	掛川市議会で予算及び決算審査を行う常任委員会を予算決算委員会を設置
30	ウクライナ避難民受け入れ 市営住宅無償提供等の支援を行う

令和3年 かけがわ市政10大ニュース

令和3年12月22日

掛川市

順位	項 目
①	<p>新型コロナウイルス感染症との長期戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ワクチン接種を開始。ワクチンコールセンター設置 (3/22) 医療従事者集団接種開始 (4/24) 65歳以上個別接種 (5/24)・集団接種 (5/29) を開始 ○第5波により、県内にまん延防止等重点措置要請 (8/18～8/19) 緊急事態措置要請 (8/20～9/30) 期間中、多くのイベントが中止・延期に。公共施設等は一定期間休館。酒類を提供する飲食店への営業時間短縮、休業等の要請。 子育て支援センター、児童館等の利用を一部制限 (8/18～10/1) 市内感染者3日間連続20人以上発生 (8/27～8/29) ○昨年に続き、市内の祭礼行事縮小、屋台や祢里(ねり)の曳きまわし中止 ○ワクチン集団接種を終了 (11/7)
②	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックで市内出身選手が活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京2020オリンピック 聖火リレーが57年ぶりに市内を走る (掛川城三の丸広場～大手門) (6/23) 女子ソフトボールで山崎早紀選手が金メダル獲得 (7/27) ○東京2020パラリンピック 「掛川希望の火」採火式 (掛川特別支援学校) (8/16) 陸上男子走り幅跳びで山本篤選手が4位入賞 (8/28) 自転車女子ロードタイムトライアルで杉浦佳子選手が金メダル獲得 (8/31) 自転車女子ロードレースで杉浦佳子選手が金メダル獲得、2冠達成 (9/3) 山崎・杉浦両選手に市民栄誉賞 (12/17・21)
③	<p>市長選挙・市議会議員選挙執行。市長選で初の5人出馬、久保田崇市長が当選。市議会議員選に23人出馬、21人当選 (7人が初当選) (4/18) 松井三郎市長が3期12年で退任 (4/23)</p>
④	<p>GIGAスクール構想全小中学校1人1台iPad整備完了、曾我小で使い始め式 (2/22) Pepperプログラミングテスト全国大会で北中が全国2位 (3/22) 学校教育活動のオンライン化進む (オンライン学習・研修・会議等)</p>
⑤	<p>全国茶品評会「深蒸し煎茶の部」で2年連続となる産地賞を受賞。全国最多の通算23回目。上位10点のうち7点を市内生産者が占め、産地の実力を全国に発信 (11/19)</p>
⑥	<p>熱海市土砂災害支援へ消防職員59人、一般職員6人を派遣 (7/3～9/10) 県内被災地の沼津市・富士市にボランティアセンターを通じて掛川茶を届ける (7/12) 佐賀県武雄市の洪水災害支援へ一般職員3人を派遣 (9/1～9/28) 久保田市長が市民等からの義援金約120万円を熱海市齊藤市長へ手渡す (9/21)</p>
⑦	<p>海岸線地域の発展を目指し「掛川市海岸線地域ビジョン」策定 (3月) 大東温泉シートピアを民間譲渡、リバティールリゾート大東温泉としてリニューアルオープン (4/24) 潮騒の杜植樹祭10年目で10万本植樹達成 (5/22)</p>
⑧	<p>「かけがわ茶エンナーレ2020+1」1年の延期を経て、市内各所で71のプログラムを展開。全作品をデジタル化し、スマートフォン等でも鑑賞できる新たな地域芸術祭として開催 (10/16～11/14)</p>
⑨	<p>「手のひら市役所」実現へ前進 市公式LINE登録者プレゼントキャンペーンを実施 (7/20～9/10)、友だち登録者数が32,000人 (12月1日現在) を超え、SNSを活用した情報発信が推進。保育園入所電子申請受付開始 (9/30) かけがわ電子図書館サービス開始 (10/5) 市公式LINEセグメント配信開始 (10月)</p>
⑩	<p>掛川桔梗女子ソフトが全日本小学生女子大会で全国優勝。3月の春季優勝に続き春夏連覇 (8/4)</p>
11	<p>歩いて楽しめるまちに向けた社会実験「まちなかストリートテラス」開始。中心市街地の活性化と歩くことによる健康増進に期待 (11/1～R4.3/31)</p>
12	<p>茶産地で生活する市民の物語、歴史などにスポットを当てる「掛川茶リブランディングプロジェクト」を展開。市役所本庁の応接室、庁議室、全員協議会室に迫力の茶園写真を展示。一般公開に約200人来庁 (11/6)</p>
13	<p>4年ぶり国定養稚機児童ゼロを達成 (4/1) 保育園等入所申込み電子申請開始、A I 入所選考システム導入 (9/29)</p>
14	<p>令和3年に就任した菊川市、袋井市、磐田市、掛川市の4市長からなる「令三会」発足。4市の連携強化を確認 (6/12)</p>
15	<p>第70期王将戦七番勝負第1局を二の丸茶室で開催。渡辺明王将が永瀬拓矢王座に125手で勝利。当市開催は12期連続、将棋のまち掛川を全国へ発信 (1/10～11)</p>
16	<p>プロフェッショナル人材を市初の全国公募。副市長1,498人、広報戦略官229人、DX推進担当173人の応募。(10/18～11/14)</p>
17	<p>合併以来3会場で開催の成人式が初のWeb開催に (1/10)</p>
18	<p>高柳副市長が就任。久保田市政新体制 (5/18)</p>
19	<p>日中友好に貢献した郷土の偉人の功績を発信、亀次郎公園小記念館が落成 (3/6)</p>
20	<p>コロナ禍で中止となった地区集会の代替事業「かけがわまちづくりミーティング2021」を開催。地域と行政が対話を通じて理解を深める場に (12/14)</p>
その他	<p>横須賀高校再編に関し、県教委、南遠地域教育環境整備推進協議会と市が意見交換会を開催 (10/28)</p>
	<p>子どもたちの新たな学び・育みの場へ よこすかぬく森こども園建築工事落成式・智光こども園建築工事落成式 (3/22)、モコ掛川保育園開園式 (3/28)</p>
	<p>構造改革特別区域計画「掛川市緑茶リキュール特区」内閣総理大臣認定 (8/10) 緑茶を原料としたリキュール製造の特区認定は全国初。</p>
	<p>掛川SDGsプラットフォーム創設。行政と企業・団体などが相互交流や共創を促し、理念や目標を共有して持続可能なまちづくりを目指す (10/22)</p>
	<p>福祉関連の3計画策定 (3月) 第四次掛川市地域福祉計画・地域福祉活動計画 (スマイルプラン21)、掛川市人権施策推進計画、第6期東遠地域広域障害福祉計画・第2期東遠地域広域障害児福祉計画</p>
	<p>国土の歴史的景観に寄与、鈴木家住宅 (伊達方) が国の登録有形文化財に登録 (6/24)</p>
	<p>市初の地域おこし協力隊員に芳川翠さんを任命。都市部から登用の意欲ある人材の視点到期待 (8/5)</p>
	<p>市役所本庁1階ロビーと吹き抜けアトリウムの天井改修工事を実施。安全・安心を強化 (4/26～R4.3/17)</p>
	<p>市水道給水開始100周年。先人の功績に感謝し浄水場跡地 (十九首) で水道感謝のつどい (7/3)</p>
	<p>第26回全国報徳サミット掛川市大会、大日本報徳社で初のオンライン開催。二宮尊徳ゆかりの17市町村が参加、当市では3回目の開催 (11/6)</p>

令和2年 かけがわ市政 10大ニュース

令和2年12月17日
掛川市

【新型コロナウイルス感染症との戦い】

- 多くのイベントが中止・延期・規模縮小。公共施設は一定期間を休館。小中学校では卒業式規模縮小や長期臨時休校(4/11～5/24)並び夏休みの短縮(8/8～17)。幼稚園は臨時休園・こども園(保育園)は強い登園自粛要請(4/18～5/24)
○過去最大規模の補正予算 コロナ禍による経済対策などに9回140億円。国の緊急事態宣言(4/7)に伴う休業要請及び
① 休業協力金、国の特別定額給付金(1人10万円)、中小企業向け融資制度、密回避対策助成金、小規模企業者応援給付金、農畜産業応援給付金、プレミアム付商品券、子育て世帯・ひとり親世帯への給付金など
○新型コロナで医療従事者にエール 備蓄マスクを医療機関等に約9万枚配布(～5/31) 掛川城天守閣青色ライトアップで医療従事者を応援(5/1～31) 差別・偏見根絶へ掛川版シトラスリボンプロジェクト(10/26～)など
○掛川・菊川・御前崎の3市と小笠医師会が市内にPCR検体採取センター開設(6/4)
-
- ② 環境資源ギャラリーの焼却炉故障で「ごみ処理非常事態宣言」発令。北中生徒会「ごみ削減プロジェクト」など、市民の協働力により危機を乗り越える(6/5～8/3)
-
- ③ 全児童生徒へのタブレット配布と通信環境を整える国の「GIGAスクール構想」が加速(事業費は約14億円)
-
- ④ デジタル化の波 オンライン移住相談開始(7/11) 地区集会以ライブ配信(10/5～11/27) 市校長会をオンライン初開催(10/12) 各地区や自主防災会などへタブレット端末配備開始(11/11) 小学生将棋大会でオンライン対局(11/23)
-
- ⑤ 家代の里地内の緑地の売却に係る損害賠償請求訴訟、1回目の弁論準備手続で市有地返還を求め反訴(11/19) 再発防止のため事務処理等適正化委員会(1/7)や土地利用検討委員会(8/19)を新設
-
- ⑥ 待機児童対策進む ちはまこども園、みなみさいごうのぞみ保育園など5園開園(4月) よこすかめく森こども園や智光こども園で安全祈願祭(5月) 令和3年4月には保育定員266人増見込む
-
- ⑦ 掛川市が内閣府「SDGs未来都市」に選定される(7/17)
-
- ⑧ 掛川茶の新定義発効(4/1) 第74回全国茶品評会で2年ぶりに産地賞奪還。全国最多22回目(8/28) UCC上島珈琲(株)と茶草場農法の持続的発展活動で連携協定(2/25) 関東圏のソフトバンク携帯ショップ約1,000店舗で試供品を配布(12月)
-
- ⑨ 大規模開発が順調に推移 大坂・土方工業団地開発造成工事安全祈願祭(5/12) 新エコポリス工業団地造成3期事業で東山口地区まちづくり委員会と基本協定締結(6/30) 新東名高速道路倉真第2PA連結予定者に掛川市決定(10/5) 下垂木一丁目地区土地区画整理事業換地処分完了(10/22) スーパーセンター オークワ開店(9/5)
-
- ⑩ 公民連携による地域新電力会社「かけがわ報徳パワー株式会社」を設立(7/7)
-
- 11 中学生の活躍光る Pepperプログラミング大会で東中がフリー部門で金賞、西中が中学校部門で銀賞(2/9) 大須賀中が「安全功労者内閣総理大臣表彰」受賞(7/30) 西中が「お進者市民アワード」最優秀賞決定(10/19)
-
- 12 ポストコロナを見据えて ポストコロナかけがわビジョン検討室設置。第2次総合計画の再見直し始まる(10/1) デジタル技術による新たな価値の創造を目指す「市DX(デジタルトランスフォーメーション)推進本部」設置(11/10)
-
- 13 高校生のまちづくり参画進む 市内5つの高校と包括連携協定締結(2/27) TGCLずおかに横高郷土芸能祭部が出演(1/11) 掛工生が松本亀次郎紹介映像再生アプリを制作(2/22) 掛西食物研究部が地元企業と開発した静岡井が「お弁当・お惣菜大賞2020」井部門最優秀賞受賞(1/10) 市内5校の高校生ライターが広報かけがわで記事を連載(9月号～)
-
- 14 先駆的な福祉活動に取り組み、「ねむの木村」を開いた学園長の宮城まり子さん逝去(3/21)
-
- 15 公共施設再配置計画に関する行財政改革審議会の答申(7/17) 健康ふれあい館(大東温泉シートピア)100%民間経営に舵。民間譲渡に向けた地元説明会開催(8/26～)
-
- 16 平成17年4月1日合併後、市政15周年記念式典(12/12開催予定)
-
- 17 郷土出身選手が活躍 輝くかけがわ応援大使で日本女子ソフトボールの山崎早紀選手が、令和2年度リーグ1部の最高殊勲選手賞受賞(11/9) Jリーガー誕生「サガン鳥栖」に森下龍矢選手入団、初ゴールも記録!
-
- 18 死亡に伴う遺族の手続きをまとめて支援する「おくやみコーナー」が市民課に開設(6/1)
-
- 19 窓口業務の電子化進む 市税などの収納にスマホ決済を導入(4/1) 水道・下水道料金にも導入(R3.1～)
-
- 20 梅雨前線停滞で大雨警報8回発令(6・7月) 川の増水情報をスマホで確認できる河川水位観測システム運用開始(5/1)
- 一級河川・菊川の「流域治水」を進める菊川流域治水協議会を発足。県内初、全国2例目(7/20) 大正10年11月に全国で初めて結成した菊川改修期成同盟会が結成100年記念式典(11/16)
 - マイナンバーカードを活用した戸籍等のコンビニ交付の対象拡充に伴い連雀出張所の業務終了(3/31)
 - 松ヶ岡(旧山崎家住宅)の大規模修復工事開始(8/31)工期は令和6年度まで。全体事業費は約4億円。
 - 市ホームページが10年ぶりにリニューアルへ。デザイナー新し使いやすさを追求、LINEなどのSNSによる発信を強化(12/1)
 - 災害対策進む 新しい生活様式に対応した避難所用備品を配備(パーティション、非接触型体温計など) 花屋敷地内の地すべり箇所の本格的復旧工事着手(8/5)

【その他】◎火災件数19件は新市合併以降最小となる見込み(11/16現在)。緊急出動回数も激減(10/31に前年比371件減) ◎地域公共交通の利便性向上を目指して、市自主運行バス「後期高齢者運賃無料運行」実証実験(4/1～R3.3/31) ◎森の都温泉「ならこの湯」入館者150万人(1/13) ◎4会計(簡易水道、公共下水道、農業集落排水、浄化槽市町村設置)が特別会計から企業会計に移行(4/1) ◎各自主防災会の協力により住宅耐震化・空き家調査の結果まとまる。広報6月号で公表(耐震化率78.8%、空き家率4.6%)

- ① ラグビーワールドカップ2019日本大会、エコパスタジアムで日本戦含む4試合開催。駅前通りの「おもてなしゾーン2019」にファンら2万5千人超(9/28、10/4・9・11)。仁藤町の大獅子がオープニング飾る(9/28)、小中学生がエコパで観戦(10/4・9・11)
 - ② 大型で非常に強い台風19号が伊豆半島上陸(10/12) 市内で床上・床下浸水、地すべり等発生。市内全域に「避難勧告」発令、避難所開設56か所513人の避難者。自主運行バス初の計画運休。市内公共施設の臨時休業。土曜の祭典中止も。
 - ③ 市内全小中学校31校の普通教室と8幼稚園の保育室にエアコン設置。433室でエアコン一斉使用開始(6/10)
 - ④ 粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス(愛称:かっぱしテラス)オープン(5/30)、テラスカフェ利用者1万組達成(10/31)
 - ⑤ 元号「令和」へ 市役所で婚姻届臨時窓口開設、61組が届け出。「Pepper」が記念撮影。各地で祝賀行事開催(5/1)、令和御大典奉祝掛川市大会で市民ら700人が提灯行列(11/3)
 - ⑥ 幼児教育・保育無償化スタート 市独自の預かり保育料助成制度創設(10/1)、進む待機児童対策 大坂・睦浜幼稚園閉園式(3/23)、おおさかこども園・そがのぞみ保育園・おだかちょうのぞみ保育園開園(4/1)、すずかけっこ保育園増設(4/1)、ちはまこども園・みなみさいごうのぞみ保育園・あんり小規模保育園起工式
 - ⑦ 伊村義孝・浅井正人両副市長退任(3/31)、久保田崇副市長が就任(4/1)
 - ⑧ 県内初「掛川市緑茶で乾杯条例」施行(4/1)、掛川茶の産地表示の基準見直す。生産範囲を厳格化(3/28)、ブランド力向上に向け官民で「トップクオリティー掛川茶ブランド検討会」発足(8/20)
 - ⑨ JR掛川駅前西街区用地の公募に3社が応募。掛川信用金庫(現・島田掛川信用金庫)に決定・公表(2/12)
 - ⑩ 中国天津市や周恩来鄧穎超記念館などから松本亀次郎と周恩来のろう人形2体寄贈。大東図書館で除幕式(3/3)
 - 11 インド大統領が東海道新幹線で掛川初訪問、駅のホームで松井市長と大石市議会議長出迎え。つま恋リゾート彩の郷で「日印文化センター」建立記念式典出席(10/23)
 - 12 行財政改革進む 県内初の民間プールを活用した学校水泳授業(5/29)、公共施設再配置計画策定のため、9中学校区で市民説明会開催。機能統合や複合化による「縮充」再配置案提示(10/25～12/17予定)
 - 13 南アルプスへのリニア中央新幹線トンネル計画を契機に難波副知事招き、水の大切さを考えるシンポジウム(12/3)、国土交通省大臣官房技術審議官が大井川流域市町の首長訪問、掛川市長と面会(11/6)
 - 14 「三熊野神社大祭の祢里行事」が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択(3/28)
 - 15 教育情報化進む 北中学校が「Pepper」のプログラミング全国大会で最高位の金賞受賞(2/10)、市内公立小中学校を結ぶ光回線敷設完了・学習者用タブレット配備、市教育委員会と小中学校でインターネットパトロール定期実施開始(7月～)
 - 16 全国初「掛川市人生100年時代構想」まとまる。全協で報告・発表(8/21)
 - 17 中東遠総合医療センター平成30年度決算で開院以来初めての経常収支黒字を報告(8/8)
 - 18 「環境日本一」へ オーナーシップ型新電力への挑戦。脱炭素社会目指し「かけがわ地域循環・活性化協議会」設立(7/3)、太陽光発電施設設置のガイドライン施行(9/1)
 - 19 新市発足以来初、消防団員定数 803人確保(3/31)。掛川市消防本部が高規格救急自動車2台(救急西1・救急南1)を更新。同本部が県消防救助技術大会(ロープブリッジ救出の部)で3連覇達成(6/4)
 - 20 「輝かかけがわ応援大使」委嘱43人に 女子ソフトボールの山崎早紀さん(1/18)、長唄唄方の杵屋勝彦さん(10/3)、ソフトバンク副社長の榛葉淳さん(11/18)、名誉応援大使のモンテリーズイ枢機卿がローマ教皇名代として「天皇陛下即位礼正殿の儀」に出席(10/22) ※11月20日現在
- 南西郷工業団地完成(3/30)、市道高御所久保線開通(4/25)、県道相良大須賀線新川橋撤去(6/27)
 - 将棋熱高まる 第68期王将戦、第1局は8年連続(1/13・14)、日本将棋連盟が王将戦10年連続開催で感謝状(4/16)、第1回掛川小学生将棋大会(11/23)
 - 松井市長を団長にイタリア・ペーザロ市公式訪問団派遣(11/14～20)、ペーザロ市やバチカン市国訪問、ローマ教皇と名誉応援大使モンテリーズイ枢機卿に深蒸し掛川茶を献上
 - 広報広聴の充実 多言語版アプリ導入で「広報かけがわ」10か国語対応(9/1)、若者の意見を市政に「U-40KAKEGAWAミーティング」新設・40歳未満の市民10人を委嘱(9/3)
 - 全国的にも珍しい地域の戦争被害をまとめた平和学習資料「平和と私たちの未来 -伝えたい、掛川の記憶-」完成(3/27)

【その他】 ◎誰もが住みやすいまちへ 市議会全ての本会議に手話通訳者を配置(6/13～)、中央図書館等で「認知症カフェ」定期開催 ◎市指定文化財・松ヶ岡(旧山崎家住宅)の修理工事始まる(7/29～)、実証実験事業「松ヶ岡探検隊」開催(10/26) ◎市内未婚者の出会いや婚活を応援「縁結びプロジェクト」始動 「おせっかい婚活サポーター」9人を認定(11/7) ◎森林環境譲与税を活用した森林保全策を検討する「掛川市森林経営管理推進協議会」を設置(9/4) ◎県内初「高齢者安全運転自主宣言」試行、大東シニアクラブ130人が自主宣言(10/29)

- ① 台風24号襲来 市内の7割約37,300戸が停電し、復旧に5日間を要する。最大風速43.3m/s。農業被害総額約5億円。掛川城天守閣や校舎、各公共施設に被害(9/30)、台風24号をうけ、市民・企業・行政が停電対策検討会を立ち上げ(12/18)
 - ② 災害級の猛暑続く 2019年夏までに幼・小・中学校の全普通教室へ、エアコン設置の方針まとまる(11月議会、補正予算議決)、熱中症搬送者が過去最高
 - ③ 天皇、皇后両陛下が行幸啓で「ねむの木学園こども美術館」を訪問される。女優で応援大使の宮城まり子園長とともに館内の絵画を視察される(11/27)
 - ④ 掛川市名誉市民で元掛川市長の故榛村純一氏「お別れの会」に800人が参列(5/31)
 - ⑤ 深蒸し掛川茶のブランド力高まる 26年ぶり皇室献上茶謹製記念式典開催(4/22)・掛川茶皇室献上(5/18)、建仁寺に献茶(6/5)、3年連続21回目の「産地賞」受賞・五明茶業組合が初の農林水産大臣賞(8/31)、伊勢神宮に奉納(10/16)
 - ⑥ 市民や郷土出身者が全国・世界で大活躍 野口佳子選手が日本人初の年間表彰「パラサイクリング賞」獲得、山本篤選手がスノーボードで平昌冬季パラリンピックに出場、森保一さん(掛川生まれ)がサッカー日本代表監督就任、今田篤さんが浜松国際ピアノコンクール4位入賞、山崎早紀選手が女子ソフトボール日本代表で世界選手権銀メダル、三木つばき選手がアルペンスノーボード15歳以下で総合優勝、佐藤貴也選手がオートレースSGで初優勝、山内英昭さんが100kmマラソン世界選手権で2連覇、根来龍真さんが高校野球日本代表でアジア選手権出場、中日ドラゴンズ鈴木博志投手が1軍デビューなど(関連⑦)
 - ⑦ シティプロモーション(以下「CP」)が本格化 ブランドメッセージ「あなたの夢、描いたつづきは掛川で。」を市民投票で決定、CP推進計画策定、輝くかけがわ応援大使のパラサイクリスト野口佳子選手やピアニスト今田篤さんらが世界で活躍(関連⑥)、移住・定住サイト「掛川物語」開設、「出張!なんでも鑑定団in掛川」収録や2019NHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」ロケなどのフィルムコミッションや県内テレビで市の魅力を発信、掛川西高校生徒らが掛川城でプロジェクションマッピング
 - ⑧ 全国で災害、教訓残す 大阪府北部地震(6/18)をうけ、市内のブロック塀緊急点検・撤去、ため池の点検・修繕を実施。西日本豪雨(6/28〜7/8)をうけ、市役所職員5人を広島県呉市へ派遣(7月)
 - ⑨ 平成最後の掛川大祭。24年ぶり「西町の大名行列」復活で50人の大行列(10/7・8)
 - ⑩ 24年ぶりの大相撲春巡業「掛川場所」開催。横綱の白鵬や鶴竜ら人気力士が力強い取組披露(4/9)
 - 11 大東町商工会と大須賀町商工会が合併し4月1日付けで発足した「掛川みなみ商工会」が開所式(4/3)
 - 12 各施設の節目祝う 中央図書館入館500万人(2/18)、二の丸茶室15周年記念特別展示(3/3)、新幹線掛川駅開業30周年記念式典でタイムカプセル開封(3/13)、二の丸美術館20周年記念式典(4/4)、報徳図書館開館90周年記念資料展(6/21〜7/1)、中東遠総合医療センター開院5周年記念式典(8/4)、吉岡彌生記念館20周年記念式典(10/20)
 - 13 進む子育て支援 「子育てに優しい事業所」認定証交付式(3/15)、大東大須賀区域認定こども園化第1号「おおさかこども園」起工式(5/22)、医療費助成で未就学児は無料・高校生相当年齢に対象拡充、「スキニップのすゝめ」「子どもの貧困早期発見対応ガイド」作成
 - 14 交通手段広がる 中地区まち協が生活支援車を運行開始(6/12)、自主運行バス「掛川大須賀線」一般化(10/1〜)
 - 15 松本亀次郎とその教え子・周恩来のろう人形2体寄贈に関する協定締結(12/24)。平成31年3月設置・除幕式予定
 - 16 掛川駅前西街区用地の公募型民間開発の募集始まる(11/1)
 - 17 歴史的な建造物や伝統行事等をまちづくりに生かす「歴史的風致維持向上計画」が県内2例目となる国の認定受ける(1/23)
 - 18 総務省が2017年の人口移動報告を公表。掛川市は転入超過36人で県内3位(1/29)
 - 19 スポーツイヤー目前 台湾アーチェリー協会と東京オリンピック事前キャンプに関する覚書締結(1/22)、ラグビーワールドカップに出場するアイルランド、ロシア、オーストラリアの公認チームキャンプ地契約締結(7/20)
 - 20 いのちを守る「希望の森づくり」進む 海岸防災林強化事業進む(累計延長2,490m28%完成)、潮騒の杜植樹祭に620人参加・天皇陛下の御下賜金により記念植樹(5/26)
- 誰もが暮らしやすいまちへ 遠隔手話通訳サービス導入(4/1)、発達相談支援センター「のびる〜む」が開所(4/4)、障がい者就労支援事業による就労者数延べ1,000人達成(12/1)
 - 環境日本一へ 静鉄ストアと資源のリサイクルと障がい者雇用を推進する事業所を応援する「K-STeP協定」締結(6/7)、平成28年度の人口10万人以上の県内自治体で一般ごみ排出量の少なさ1位(県発表)、全国でも5年連続2位(環境省発表)
 - 大須賀区域のイノシシ捕獲頭数が前年の2倍に。中東遠で初となる鳥獣被害対策実施隊発足(9/6)
 - 桜木地区上垂木にある両桜神社と六所神社による「垂木の祇園祭」が市無形民俗文化財に指定(4/26)
 - 部活動改革に挑む 全国でも珍しい文科系「地域部活」が創部(4/1)、中学部活動の質を高めるため、市内企業が支援を行う「チームかけがわ部活動サポートプロジェクト」に4企業参加(11/2)

【その他】 ◎生涯お友達者市民が大勢いるまちへ 「きんじろうくん『積小為大』健康マイレージ」始まる(7/1) ◎かけがわ茶エンナーレ「市民プログラム」市内6企画開催(10月)、第1回実行委員会開催(12月) ◎防災力高まる 日東工業と地震防災システムを共同研究。市内23施設に計測器設置で協定締結(3/27)、消防団員が過去最高の800人越え(4/1) ◎中小企業の活性化へ 「協働による中小企業振興基本条例」施行(4/1)・中小企業振興会議を初開催(8/8)、北海道豊頃町と全国初「互産互消」で協定締結(7/13) ◎「多極ネットワーク型コンパクトシティ」構築へ NPO法人かけがわランド・バンクと空き家対策に関する協定締結(2/23)、都市計画マスタープラン改定・立地適正化計画策定(3月)

平成29年 かけがわ市政 10大ニュース

平成29年12月20日
掛川市

- ① お茶のまち掛川がミュージアムに変わる30日間、掛川初の大規模地域芸術祭「かけがわ茶エンナーレ」開催(10/21～11/19)
- ② 「つま恋」名称継承 掛川・新茶マラソン開催(4/9)、「つま恋リゾート彩の郷」がHMI(ホテルマネージメントインターナショナル)の運営によりグランドオープン(4/27)
- ③ 掛川市長選挙・掛川市議会議員選挙 松井市長が3選、市議会議員は現職12人・新人9人当選・女性議員4人誕生(4/16)
- ④ ラグビー日本代表戦静岡県初開催 エコパスタジアムで対アイルランド代表とのテストマッチ実施(6/17)、ラグビーワールドカップ試合日程決定。エコパスタジアムで日本代表戦を含め4試合開催(11/2)
- ⑤ シティプロモーションスタート「輝くかけがわ応援大使第1号」・名誉応援大使にバチカン市国のモンテリーズ枢機卿(3/15)他30名委嘱、シティプロモーション課新設(4/1)、市公式フェイスブック「掛川がもっと好きになる」開設(8/1)、出張!なんでも鑑定団in掛川開催内定(8/3)、掛川流協働力によるシティプロモーション市民協働会議発足(8/19)
- ⑥ 掛川市茶振興計画と掛川茶輸出戦略書策定(3/31)、26年ぶり3回目となる平成30年度掛川茶皇室献上に向け献上茶謹製事業実行委員会を立ち上げ(5/23)、緑茶カフェオープン「Tea time まるは」(8/1)・「きみくらカフェ」(11/9)、掛川市が2年連続20回目の産地賞及び山東茶業組合が平成29年度三大品評会を制覇(9/5～8)、伊勢神宮に「茶文化プロジェクト」のお茶のセレクトセットを初奉納(10/16)
- ⑦ 待機児童2年連続ゼロ達成「子育てセンターともものり」「掛川あそび保育園」の開園で、定員が240人増加(4/1)、資生堂が敷地内に企業主導型保育施設「カンガルーム掛川」を新設(11/1)
- ⑧ 掛川信用金庫と島田信用金庫が2019年春を目途に合併、島田掛川信用金庫の名称とすることを発表(11/28)
- ⑨ プロ野球ドラフト会議で大坂地区出身の鈴木博志選手が中日ドラゴンズから1位指名(10/26)
- ⑩ 人型ロボット「Pepper(ペッパー)」を全中学校と2小学校に72機体配置(4/1)、中学校区学園化構想第2ステージへ掛川市小中一貫教育推進基本方針策定(6/22)、全国学力・学習状況調査において全教科で全国平均を上回る(9/1)
- 11 市内小中学生が全国大会、世界大会で大活躍 第二小6年木村美結さん全国小学生陸上競技交流大会女子100メートル優勝、県新記録更新(8/18～19)や、桜が丘中2年金城アユミさん柔術黄色帯世界大会優勝(4/6)、西中1年中村若葉さん全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会団体準優勝(7/27～30)、第二小4年榛村柚芭さん空手組手の部全国大会準優勝(8/5～6)、原野谷中3年山本音々さん千唐流空手組手の部世界大会優勝(8/12～13)
- 12 食育推進、健康教育の拠点に さかがわ学校給食センター落成式(8/9)・供用開始(9/1)
- 13 大坂小学校の新体育館落成式(3/1)、千浜小学校体育館改築工事安全祈願祭(7/18)、中央小学校新校舎落成式(8/23)
- 14 防災や環境などの活動が認められ市内小中学校の受賞相次ぐ 原野谷中学校がジャパンレジリエンスアワード(強靱化大賞)2017最優秀レジリエンス賞(3/15)、原谷小学校が交通安全優良団体(学校等)(10/16)、西中学校が「読書県しずおか」づくり優秀実践校(11/6)、上内田小学校が全国学校体育研究優良校(11/9)、大須賀中学校が学校安全表彰(文部科学大臣表彰)(11/16)、千浜小学校が静岡県地域防災活動知事褒賞(学校の防災活動の部)(11/18)・FBC秋花壇環境大臣賞(11/21)
- 15 2026年度に横須賀高校と池新田高校を統合する内容の「第3次長期計画」の最終案を静岡県教育委員会が発表(11/14)
- 16 俳優の杉良太郎さんが掛川城主の甲冑など5点を寄贈(3/28)
- 17 大東町商工会と大須賀町商工会が合併契約締結 平成30年4月から新名称「掛川みなみ商工会」(10/17)
- 18 働き方改革を推進 テレワーク・時差勤務の実証実験を実施(9/11～12/8)
- 19 掛川市出身者が活躍 長谷川晴彦さんが重要無形文化財「能楽」の保持者の団体の構成員として認定(7/21)、文化功労者に行政学・地方自治論の村松岐夫さんが選出(10/24)、金工作家で人間国宝の大角幸枝さんが旭日小綬章を受章(11/3)
- 20 掛川版エンディングノート「私の健康人生設計ノート」完成(3/10)

- 健康長寿を目指そう かけがわ生涯お達人市民宣言策定 表彰式(2/4)、宣誓式(5/23)
- 企業との協働進む ユニ・チャームと包括連携・防災協定締結(2/17)、キャタラーとシティプロモーションを核とした包括連携協定締結(5/13)、日本郵便と「地域における協力」・「災害時における協力」に関する協定締結(10/3)
- 来庁者や職員200人が祝福 市役所deウェディング(9/7)
- 環境対策進む キーエーロをはじめとする生ごみ処理容器によるごみ減量施策を開始(4/1)、クールチョイス宣言(4/1)を行い市民活動団体との協働により地球温暖化防止への「賢い選択」についての啓発活動をスタート、日本風力(株)による大規模風力発電施設の建設工事安全祈願祭(6/7)・(株)アサヒコーポレーションによるメガソーラー発電所の通電式(11/22)が執り行われ、市内消費電力の再生可能エネルギーが占める割合が目標の11%を達成見込み
- 水道料金お客さまセンター開設 サービス向上と事務の効率化(4/3)

【その他】◎海岸防災林強化事業掛川モデル(掛川潮騒の杜)の整備進む 希望の森づくり植樹祭(6/10)・育樹祭開催(10/14)。◎雇用創出と地域経済の発展に向けて 葛布の振興を目指して掛川市葛布活用委員会が設立(5/31)、中小企業等振興懇話会を設置し、中小企業・小規模企業の振興に関する条例について検討開始(7/19)、南西郷工業用地の起工式(8/3) ◎「森の力で地域創生事業」開始 開始式(6/18)、事業主体である時ノ寿の森クラブが森と共生する循環型社会づくりの活動を高く評価され社会貢献支援財団から社会貢献者表彰を受賞(11/27)。◎共生社会の実現を目指して 手話言語条例施行(4/1)。◎和田岡古墳群の保存と活用進む「吉岡大塚古墳」の復元・公園化に向け工事開始(8/23)。

平成28年 かけがわ市政 10大ニュース

平成28年12月20日
掛川市

ヤマハリゾートつま恋、年内営業終了を発表(9/2) 市は緊急記者会見を行い(9/2)、市議会議長と市長の連名による文書で、「経営形態の継承」「分割譲渡しないこと」「つま恋の名前を残すこと」を申し入れ(9/23)

市民栄誉賞創設 山本篤選手(リオ・パラ五輪で銀・銅メダル獲得)と大角幸枝さん(人間国宝)に市民栄誉賞授与(11/7、19)

協働のまちづくり開花の年 市内全地区の31地区まちづくり協議会が活動開始(4/1)、企業や市民活動団体等との協働も進む

大規模災害を想定した消防本部・中央消防署新庁舎が完成 落成式(3/24)、内覧会に2,000人が来場(3/26)

第2次掛川市総合計画スタート(4/1)、3つの日本一「教育・文化」「健康・子育て」「環境」

経済、文化、観光、スポーツの交流促進 イタリア・ペーザロ市と姉妹都市提携調印式(9/20)

茶エンナーレ本格始動、文化事業続々 茶エンナーレシンポジウムでシンボルロゴ発表(2/12)・第1回セッション(8/11)・第2回セッション(10/23)、市役所がアート空間に「赤堀マサシ展(6/20～7/22)・資生堂アートハウス収蔵品展(10/3～)」、GAW展Part in 東海道日坂宿(7/23～8/27)、人間国宝の室瀬さん・大角さんによる伝統工芸体験教室開催(9/10、10/29)、ニトリ小樽芸術村ステンドグラス美術館と掛川市ステンドグラス美術館との連携協力に関する協定締結式(11/8)

子育て支援策進む 県内初の公私連携型保育所「すずかけっこ保育園」、認定こども園4園開園で待機児童ゼロ達成(4/1)、「掛川あそび保育園」(8/2)・子育てセンター「とものもり」(8/31)建設開始、事業所内保育園開園「クオリテックファーマ内(4/5)・資生堂内来年秋、大東・大須賀区域の認定こども園化5園再編案提言 推進委員会(8/5)

基本計画策定から25年 掛川駅前東街区市街地再開発施設整備完了、マンション棟竣工式(9/2)、マンション棟の店舗が開店し、グランドオープン記念式典(10/29)

死亡者ゼロのまちづくりへ 掛川市国土強靱化地域計画策定(2/1)、熊本地震へ8人の支援職員派遣(4/25～7/17)、静岡県・掛川市総合防災訓練が18年ぶりに市内で開催され、約4万人が参加(9/4)

- 11 中東遠総合医療センターの医療水準の高さと診療実績が認められる (公財)日本医療機能評価機構による「病院機能評価」に認定(3/4)、DPC機能評価係数が 群病院の内県内1位(全国1,446病院中20位)(4/1)、県知事が「地域医療支援病院」に承認(8/15)
- 12 子どもたちの未来のために 教育大綱かけがわ策定(3/30)、全国学力・学習状況調査結果を発表、全教科で全国、県の平均を上回る(10/5)
- 13 茶業振興計画・海外戦略スタート 第70回全国茶品評会深蒸し煎茶の部で産地賞奪還 2年ぶり19回目の産地賞及び山東茶業組合が農林水産大臣賞(8/26)、伊勢神宮に深蒸し掛川茶を初奉納(10/16)
- 14 障がい者の就労進む 掛川市障がいのある人の「働きたい」をかなえる条例施行(4/1)、障がい者新規就労500人サポート事業500人就業達成(8月)、A型事業所アトリエ(3/12)・B型事業所ペンタス(4/12)開設、資生堂市内初の特例子会社を設立(10/1)
- 15 広島市平和記念式典へ初めて中学生を派遣(8/6)、平和祈念式で市民に報告(8/15)
- 16 海外防災林強化事業「掛川モデル」の整備進む 掛川モデル基本計画策定(2月)、市民協働による希望の森づくり「潮騒の杜」植樹祭(6/11)約900人が参加して3,150本を植樹
- 17 将来のまちづくりや教育環境などを議論 中学生議員による初の「かけがわ子ども議会」開催(8/23)
- 18 市の資産有効活用進む 森林果樹公園に体験型菓子工房「アトリエ」がオープン(3/12)、さんりーなにカフェの建設決定(11/18)
- 19 参議院議員通常選挙で初の18歳選挙権(7/10)
- 20 都市計画道路整備進む 掛川駅南橋線高御所工区供用開始(3/30)、都市計画道路葛川下俣線全線開通(7/5)

掛川市健康医療基本条例が市議会特別委員会の発議で制定、施行(4/1)、掛川市健康医療シンポジウム開催(9/9)

「かけがわ教育の日」第10回記念大会開催(11/19) ノーベル賞受賞の天野浩教授が基調講演

ラグビーW杯2019及び2020東京オリンピック・パラリンピック「掛川市おもてなし委員会」設立(1/29)

保育園・幼稚園義務教育化も含めた乳幼児教育を研究する「かけがわ乳幼児教育未来学会」設立予定(12/23)

かけがわ生涯ワーキングシステムの構築へ 中東遠タスクフォースセンター開所(4/1)

【その他】 大島司さんをふるさと親善大使に委嘱、地元で初の原画展開催(1/5～2/14)、松ヶ岡、市有形文化財に指定(2/22)、かけがわ「生涯お達人市民」推進プロジェクト始動(4月)、はばたけ未来の吉岡彌生賞を創設(4月)、中央図書館開館15周年記念式典(6/1)、大須賀図書館開館25周年記念式典(7/16)、県内最大クラスのメガソーラー施設「大淵・沖之須特別高圧太陽光発電所」起工式(9/6)、八坂神社祇園祭(大東区域、中地区)で60年ぶりに山車に人形(10/1,2)、かけがわポップカルチャーサミット開催(10/22)、松本亀次郎生誕150周年国際シンポジウム開催(11/20)、「さくら咲く学校」(原東地区)にドローンの操縦士を養成する「ドローンスクールジャパン静岡掛川校」が開校(11/29)。

平成27年 かけがわ市政 10大ニュース

平成27年12月21日
掛川市

- ① 「健康・子育て日本一」へむけ新たな幕開け 希望の丘グランドオープン(4/25)、小笠掛川急患診療所が歯科併設で新規オープン(4/1)、中部ふくしあ開設(4/1)で市内5か所の「ふくしあ」体制整う、「ふくしあ」が健康寿命をのぼそう！アワードで厚生労働大臣優秀賞を受賞(11/16)。
 - ② 市制施行10周年を祝う行事盛りだくさん 10周年記念式典開催(4/18)、ミニ四駆ジャパンカップ掛川大会(9/6)、祝賀まつり～祭が創る掛川の和～、西郷局パレード(10/31)、プレミアム買物券「お千代小判」発売(7月)。
 - ③ 南北道路続々開通 大東ルート市道海洋公園線開通式(2/4)、大須賀ルート市道入山瀬線開通式(6/15)。
 - ④ 「教育・文化日本一」へ 横須賀在住の鈴木政昭氏から寄贈を受けステンドグラス美術館オープン(6/6)、文化振興計画策定(2月)。
 - ⑤ イタリア・ミラノで開催された国際博覧会(ミラノ万博)で静岡の茶草場農法をPR(10/16)、併せて掛川市長がバチカン市国ローマ法王庁を訪問し、ローマ法王に掛川茶を献上(10/14)。
 - ⑥ 掛川駅前の新たな顔に 掛川駅前東街区再開発事業 商業施設「we+138Kakegawa」がオープン(10/1)、市議会特別委員会で西街区再開発の検討進む。
 - ⑦ 協働のまちづくり進む 「協働によるまちづくり推進条例」施行(4/1)、生涯学習協働推進課内に「まちづくり協働センター」設立(4/1)、各地区でまちづくり協議会の設立進む。
 - ⑧ エコパスタジアムでラグビーワールドカップ2019の試合が開催されることが決定(3/2)、推進本部会議初会合(11/26)。
 - ⑨ 中東遠総合医療センターが県から救命救急センターに指定される(8/1)。
 - ⑩ 掛川出身の大角幸枝氏が鍛金で人間国宝に認定される(10/1)。
 - 11 人口減少社会に挑む 第2次掛川市総合計画基本構想策定(7/6)、地域創生総合戦略を策定(10/30)、国地方創生先行型交付金(上乗せ交付金)採択(かけがわ生涯ワーキングシステム事業・掛川市子育て世代向け住宅供給事業)。
 - 12 防災対策進む 「掛川市防災ガイドブック」全戸配布し、災害種別ごとの「家庭の避難計画」作成を進める(4月)、「国土強靱化地域計画策定モデル自治体」に選定される(7/17)。地震・津波対策寄付金が1億5000万円を突破。
 - 13 副市長に伊村義孝氏、浅井正人氏が就任、2人体制に。教育長に山田文子氏が就任(地元出身では初の女性教育長)。
 - 14 「茶のみやきんじろう」ゆるキャラ(R)グランプリ全国大会に初参戦(11/21～23)。最終総合74位(ご当地部門54位)と大躍進。
 - 15 「環境日本一」へ NPO法人WAKUWAKU西郷が「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞(12/2)、ゴミ処理費用の一部有料化(4/1～)、新ゴミ指定袋への完全移行(10/1)、保護対象生物や希少動植物の保全を図るため自然環境保全活動推進員9人を委嘱(11/12)。
 - 16 「希望の森づくり」進む 沖之須防潮堤で植樹祭が開催され1,100人が参加(6/13)、細川元首相が沖之須防潮堤視察(6/29)、沖之須・浜川新田育樹祭(9/27)、中東遠総合医療センター育樹祭(11/14)、NPO法人時ノ寿の森クラブが林野庁長官賞を受賞(10/11)。
 - 17 イタリアのロッシーニ歌劇場管弦楽団と市民合唱団が鎮魂の歌を被災地に届けた「バチカンより日本へ 祈りのレクイエム日本公演2015」(3/14)、これにあわせバチカンから枢機卿が来掛、東山の世界農業遺産やステンドグラス美術館の建設現場を視察。
 - 18 横須賀の川原町、西田町の祢里が神田祭に里帰り(5/9～10)、3年に一度の掛川大祭(10/9～12)・三大余興が披露される。
 - 19 松ヶ岡の保存と活用のため「松ヶ岡プロジェクト推進委員会」発足(2/24)、毎月1回一般公開、約70年ぶりにかんからまちの舞が松ヶ岡で披露される(10/11)。
 - 20 郷土の偉人を顕彰 第1回「金次郎と掛川の偉人検定」開催(8/23)、市内小学校全22校に金次郎像設置、元遠州横須賀藩主西尾家から寄贈された所蔵文書を一般公開(8/15～11/1)。
- 500人サポート推進室設置、障がい者の雇用支援進む。
 - 全国の開発型インターで唯一の成功例「小笠山麓開発株式会社」が解散(3/31)・清算終了(12/15)、掛川ICの建設とそれに伴う地元負担金の返済完了、株主に1株あたり6割強の配当。
 - 「掛川市いじめ防止条例」施行(4/1)。掛川西中学校増築校舎落成式(3/9)、総合教育会議が設置され教育大綱を議論。
 - ふるさと納税、4月から返礼品の充実で一気に増。11月末までに1億円突破。キックオフイベント開催(4/28)。
 - 東京女子医科大学に新入生掛川市地域枠推薦確保、修学資金貸与制度の募集集まる。韓国大邱韓医科大学と生涯学習交流協約締結(10/6)。

【その他】 ◎掛川城天守閣開門20周年記念イベント(3/7～22日)。◎大東温泉シートピア入館者400万人達成(3/8)。◎名誉市民 元掛川市長榛村純一氏の銅像が寄贈される(4/1)。◎名誉市民 元大須賀町長大石高氏逝去(5/24)、お別れの会開催(7/16)。◎さんりーな利用者300万人達成(7/3)。◎「生活再建支援型納税相談」事業開始。ファイナンシャルプランナーに生活再建支援員を委嘱(8/6)。◎地域SNS「e-じゃん掛川」がリニューアル(11/18)。◎財務会計システム更新。◎京都在住の絵本作家永田萌氏が「静岡の茶草場農法」を絵本で紹介した「ふわりとチャパー茶草場の四季ものがたり」発行(12/10発刊)

平成26年 かけがわ市政 10大ニュース

平成26年12月19日
掛川市

- ① 掛川駅木造駅舎完成。供用開始式(1/26)、完成記念式典(4/26)。市民募金6,758万4,932円、キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使から掛川市民をたたえるメッセージ届く。

- ② 台風18号が日本を縦断。掛川市で総雨量416ミリ、時間最大81ミリを記録。土砂災害警戒区域に避難勧告発令。吉岡橋通行止め。床上27棟、床下71棟の住宅浸水等被害発生(10/6)。

- ③ 「掛川市地震・津波対策アクションプログラム2014」策定(3/19)。国安・千浜西区の津波避難施設完成(3/9)。中央消防署の庁舎建設着工(7/31)「掛川市地震・津波対策寄附金推進委員会」による寄附金続々集まる(12/4現在96,060,782円)。

- ④ 掛川市住民投票条例が施行される(10/1)。

- ⑤ 合併関連事業が進む。南体育館(し～すぽ)オープン(4/1)。都市計画道路「海洋公園線」開通間近(H27.2月開通予定)。市道「入山瀬線」第2期工事实施中(H27夏頃開通予定)。

- ⑥ 希望の丘プラン順調に進む。「生活介護事業所 ぴのほーぷ」完成(3/26)。「放課後等デイサービスセンター(社会福祉協議会)」「かけがわのぞみ保育園(春献美会)」、「特養老人ホーム ラスール掛川(湖星会)」で安全祈願祭(7/8)。希望の丘運営委員会設立(10/30)。

- ⑦ 「こども希望部」が新設され、子どもに関する窓口が一本化(4/1)。掛川協働保育園制度開始(4/1)。子育てコンシェルジュ活動開始(7/18)、ゆったり子育て3世代同居事業に24件の応募。「掛川市子ども・子育て支援事業計画」策定進む。

- ⑧ 「遠州灘沿岸地域(掛川市内)海岸防災林の再生に向けた整備に関する覚書」締結(11/7)。沖之須工区3ha試験施工に着手(11/22)。掛川モデル推進協議会設立(11/27)。

- ⑨ 「お茶振興課」が新設され、お茶に関する窓口が一本化(4/1)。「第68回全国茶品評会」深蒸し煎茶の部で10年連続18回目の「産地賞」受賞(8/29)。2015ミラノ万博に「静岡の茶草場農法」出展決定(8/7)。掛川お茶大使に長尾春花さん任命(12/12)。

- ⑩ 「森づくりを未来につなげる全国サミット&シンポジウムin掛川」開催、全国から13市町の首長が集まる(11/28～11/29)。命を守る「希望の森づくり」植樹祭は市内各地で継続的に開催。

- 11 歴史と文化の建造物を保存。大日本報徳社建造物3棟が県指定文化財に指定(3/14)。松ヶ岡保存活用検討委員会が最終報告書を提出(10/5)。景観計画景観形成重点地区第1号に遠州横須賀街道沿道地区を認定(1/20)。

- 12 協働のまちづくり議論進む。「掛川市まちづくりシンポジウム」で政策アドバイザー6人が協働のまちづくりについて語る(7/5)。協働のまちづくり地域説明会(11/13～11/25まで全5回)、協働のまちづくりアドバイザーに菅沼孝行さん(成滝)を委嘱。(7/25)。まちづくり協議会のモデル地区に3地区(南郷・西山口・大淵)指定。

- 13 市内の開業医鈴木政昭さん(横須賀)からステンドグラスおよび美術館建物が寄贈されることとなり地鎮祭が行われる(6/13)。

- 14 市民総ぐるみの教育の推進。「かけがわお茶の間宣言」発表(1/12)。「かけがわ学力向上物語」策定(3月)。「我が校のものがたり-学力向上ものがたり(別冊)-」作成(6月)。西中学校校舎増築工事着工(7/16)。「かけがわ学園放送」開設(10/29)。

- 15 合併10年。未来の掛川市を見据えて。第2次掛川市総合計画策定に着手、三つの日本一も見直し始まる。基本構想策定市民委員会設置(7/29)、第1回掛川市総合計画審議会開催(11/19)。地域創生を進めるべく「掛川市創生本部会議」設置(10/1)。文化振興計画策定進む。

- 16 活力のあるまちに。新エコポリス第2期工業団地に(株)日立物流の新物流センター竣工(7/28)、焼津水産化学工業(株)の新工場竣工(8/28)。掛川駅前東街区第一種市街地再開発事業起工式(12/22)。

- 17 環境日本一に向けて取り組み進む。西部ふくしあで「屋根貸事業」により太陽光発電設置(6/16)。庁舎に太陽光発電施設が完成(32kw)。9月定例議会でごみ処理費用の一部負担をすすごみ指定袋の有料化が可決。小型家電リサイクルボックス市内4か所に設置。創エネパートナーシップ新たに5社と協定締結。

- 18 市制10周年を記念し、各種イベント開催。ふれ愛・いとくり通りストリートパフォーマンス(8/23)、横須賀街道ちっちゃな文化展(10/23～25)などは拡大開催。第1回掛川市城下町駅伝競走大会(2/9)、第1回暮らしのフェスタ2014(11/30)など新しいイベントも続々。

- 19 「内陸フロンティア」推進地域に掛川市の5地区が指定(5/27)、後さらに1地区が追加指定される(10/14)。

- 20 第2次行財政改革審議会が最終提言書を提出(3/25)。公共施設の管理に新しい視点を導入すべく、掛川城周辺施設および、南体育館を民間企業に指定管理(4/1)。市民課一部業務の外部委託(4/1)。第3次行財政改革審議会スタート(4/30)。

- 市議会が掛川市議会政策提言を提出(4/4)。人口減少をテーマに2年目を迎えた「議会報告会」が9会場で開催(10月～11月)。
- 地域の情報化進む。光ファイバ網整備(三笠・伊達方・原泉)が完了し、市内全域で光サービス利用可能に(3月)。オープンデータの活用でスマートフォンで利用できる5374(ごみなし)アプリ運用開始(11/13)、市内公共施設のAEDマップを作成しホームページに掲載(10月)。
- 恒久平和を祈り、戦没者追悼式・平和祈念式典が執り行われる(8/15)。
- 継続事業が次々完了。洋望台土地区画整理事業竣工式(4/15)。新東名「原田高架下公園」完成(10/23)。杉谷家代線森平工区開通(10/28)。
- 「掛川市空き家等の適正管理に関する条例」施行(4/1)。

【その他】 ◎寒桜の新品種「掛川桜」の命名式(3/10)。◎声の広報をとどけて37年「サークル声」が春の叙勲で緑綬褒章を受賞。◎つま恋で「国際馬術掛川2014」開催(3/28～30)。◎大東海洋公園風力発電施設15年の歴史に幕(5/27)。◎「ならここの湯」入館者数100万人達成(4/18)。中央図書館入館者で400万人達成(10/26)。◎河井家文書から河井重蔵と田中正造の交流文書、清水家所蔵品から大久保一丘屏風絵発見。◎第15回静岡県市町対抗駅伝競走大会市の部15位(12/6)。◎かけがわフラワーエンジェルが全国まちづくりコンクール優秀賞。◎バレーボール城北VSCが全国大会で準優勝、大須賀中学校剣道部が全国3位、「国際将棋トーナメント」で高橋晴仁君(西山口小6年)が優勝し世界一に。子どもたちの活躍光る。

平成25年 掛川市 10大ニュース

平成26年1月

順位	項目
1	掛川・袋井両市民が待ち望んだ中東遠総合医療センターが開院(5/1)。鉄骨造(免震構造)、地上8階、病床数500床、診療科目33科目。掛川市立総合病院(S34開院・S59杉谷移転)54年の歴史に幕。病院閉院式(4/30)。病院感謝の会(7/3)。
2	「第67回全国茶品評会」深蒸し煎茶の部で掛川市が9年連続17回目の「産地賞」受賞(8/30)。「掛川深蒸し茶」が名実共に日本一に。世界農業遺産国際会議で「静岡の茶草場農法」が世界農業遺産に認定(5/30)。茶草場農法実践者認定証書制度が開始(9/20)。
3	「掛川市自治基本条例」が施行(4/1)。協働のまちづくり元年がスタート。掛川市意見公募手続等実施要綱施行。まちづくり協働推進条例・住民投票条例の検討が始まる。
4	【防災体制の強化】 静岡県第4次地震被害想定が発表。市内の死者約800人、物的被害約21,000棟、津波高さ13mと想定(6/27)。菊浜、今沢区に津波避難施設が完成(3/27)。国安・千浜西区の津波避難施設工事着手(11/11)。今年度末までの3か年で小中学校10校11棟の耐震補強工事完了。(総事業費17億円)。「掛川市地震・津波対策アクションプログラム」の策定に着手。地震・津波による死者ゼロを目指して、市民、自治会、企業、団体などによる「掛川市地震・津波対策寄附金推進委員会」設立(10/8)。平成29年度までの5年間、目標額3億円。
5	掛川市長、市議会議員選挙(4/21)。松井市長2期目。市議会議員24人中新人10人。市議会議長に2期連続で大石與志登氏が、副議長には堀内武治氏が就任(5/16)。静岡県知事選挙(6/16)川勝知事2期目スタート。参議院議員選挙(7/21)自民党が大勝。
6	【希望の丘プラン順調に進む】 「希望の丘」5区画施設(特別支援学校・掛川東病院・桔梗の丘(老健)・重症心身障がい児(者)通所施設・特別老人ホーム・保育所)進出決まる。「希望の丘特別養護老人ホーム・保育所複合施設」協定書調印式(4/12)。社会福祉法人和松会「(仮称)和松会生活介護事業所」起工式(9/10)。医療法人社団綾和会「掛川東病院・桔梗の丘」安全祈願祭(9/14)。
7	【環境日本一を目指しての取り組み】 1人1日当たりのごみ総排出量が全国で一番少ない市(10万人以上50万人未満の部)「ごみ排出量全国最小日本一」2年連続達成。大淵・沖之須農工団地21haへの太陽光発電施設(18ha、16メガワット)事業者が公募により決定(8/28)。環境月間県民大会が生涯学習センターで開催される(6/7)。下板沢区公会堂に太陽光発電施設が設置される。スマートコミュニティー推進事業補助金として初(5/25)。
8	いのちを守る「希望の森づくり」植樹祭が市内各地で開催。沖之須海岸(3/23)・希望の丘(3/24)・22世紀の丘公園(6/8)・大浜中(9/30)・千浜海岸防災林(10/19)・国安海岸防災林(10/20)。6会場で、市民協働により総勢3,300人が参加、24,000本を植樹。
9	掛川市の歴史を見つめてきた駅舎を「思い出遺産」として後世へ。掛川駅木造駅舎の本体耐震化工事実施。平成26年1月完成予定。募金額6,348万円。
10	市民と議会、議会と行政との関係などを定めた議会基本条例が施行(4/1)。市民に開かれた議会を目指し、議会報告会が市内9会場(10/29～11/10)で開催。
11	【合併関連事業が進む】 (仮称)南部体育館建設工事安全祈願祭(6/4)。H26年4月のオープンに向け建設工事が進む。「市道入山瀬線」第2期工事着手。都市計画道路「海洋公園線」も平成26年度末の開通に向け工事が進む。
12	【企業の操業が進む】 JX金属プレジジョンテクノロジー(株)掛川工場竣工(2/14)、タイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社掛川工場竣工(5/8)。立山紙工(株)掛川工場竣工(8/23)。焼津水産化学工業(株)、(株)日立物流の建築工事着手。来年9月操業予定。
13	【懸案の市街地再開発事業着手】 「掛川駅前東街区第一種市街地再開発事業」が組合設立認可(8/30)。「掛川駅前東街区市街地再開発組合」設立総会(9/8)。施行面積0.9ha、平成25年～平成28年度(H28.3月の完了予定)。
14	東部、南部大須賀、南部大東に続き、西部地域健康医療支援センター「西部ふくしあ」開設(12/2)。
15	新幹線掛川駅開業25周年記念イベント(3/7～31)。東名高速道路掛川IC開通20周年記念シンポジウム(10/26)。
16	大日本報徳社、仰徳記念館、仰徳学寮、冀北学舎の大修復が完了(5/11)。
17	【スポーツ各種大会が開催】 第4回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会(2/22～24)。第8回掛川・新茶マラソン大会。市内外から9,410人が参加し、新緑の美しい掛川路を力走(4/14)。第14回静岡県市町対抗駅伝競走大会、昨年の25位から19位と大きく躍進。敢闘賞受賞(11/30)。
18	新東遠地区聖苑落成(3/30)、供用開始(4/6)。
19	若者の就労支援などをサポートするため、掛川勤労者福祉会館2階に「地域若者サポートステーションかけがわ」開設(4/8)。9月末までに42人の若者が就職。「障がい者新規就労500人サポート事業」の協議を進めるため「推進協議会」立ち上げ(10/10)。法政大学大学院教授の坂本光司先生が会長に就任。
20	歴史的建造物「松ヶ岡」引き渡し式(1/17)。松ヶ岡保存活用検討委員会が設立(6/29)。
21	大須賀第2分団が第34回静岡県消防操法大会で「ポンプ車の部」で準優勝(9/8)。中央消防署・県防災航空隊と合同訓練を実施(10/21)中央消防署庁舎建設実施設計着手、造成工事開始(9/25)。
22	茶文化プロジェクト仙北 奥州 掛川 多治見締結式(2/6東京ドーム)。お茶のまち掛川づくりシンポジウムにおいて、「茶文化プロジェクト戦略会議」開催(11/17)。
23	今年度末までに市内全域で光サービスが利用可能に。光ファイバー網敷設工事始まる(6/18)。
24	国際姉妹都市韓国横城郡と「姉妹都市提携に関する協定書」の条項追加及び「災害時相互支援に関する協定書」を締結(10/3)。横城郡より高錫竜郡守らが来掛(8/26～29)。国際姉妹都市オレゴン州ユージン市訪問団来掛(10/11～14)。
25	「掛川市文化振興計画」の策定に着手。第1回策定委員会の開催(11/13)。静岡文化芸術大学の熊倉功夫学長が委員長に就任。

「第66回全国お茶まつり静岡大会in掛川」で「美と健康の緑茶力」をテーマにシンポジウムと「掛川スタディ」研究報告会などを開催(11/17・18)、自慢の掛川茶を4万7千人に振る舞う。

新東名高速道路の県内区間(御殿場JＣから三ヶ日JＣまでの162km)が開通、同時に掛川PAがオープン(4/14)。

内閣府が南海トラフ巨大地震の地震津波被害想定を公表(マグニチュード9.0 震度7 掛川市津波予想高13.7m)(8/29)、市内沿岸部で地元企業も協力して津波避難訓練を実施(3/11)、津波避難施設の建設を決定し地震津波対策が始まる(南部体育館、津波避難タワー、小中学校耐震化、中央消防署建替)。災害対策関係で企業など18社と協定締結。

【いのちを守る「希望の森づくり」プロジェクトスタート】
森の防波堤づくり植樹祭(約1,400人参加、15,500本を植樹)(6/2)、中東遠総合医療センター植樹祭(約3,300人参加、23,000本植樹)(10/27)、「希望の森づくり」国際シンポジウム(約400人参加)(10/28)を開催。「希望の森づくり」パートナーシップ協定を43社と締結(10/28)。

「第66回全国茶品評会」深蒸し煎茶の部で掛川市が8年連続で「産地賞1位」受賞(8/28～31)。「茶草場農法」世界遺産申請に向け協議会(掛川市・島田市・牧の原市・菊川市・川根本町)を設立(10/11)。名実共に日本一に。

中東遠総合医療センターの本体工事完成予定(12月)、開院に向け市民説明会(3/14・16、11/21・29)、見学会(10/27)を実施。

台風4号・台風17号(10/1)来襲。台風4号の大雨により「避難勧告発令(土砂災害・浸水)」、市内全域で約10,400世帯が停電、復旧まで最長3日間(6/19)。集中豪雨で降雨量86mm/hを記録、冠水発生(8/14)。

【中心市街地が大祭などで大賑わい】
「城下を彩る」3年に1度の掛川大祭開催、7万7千人の人出(10/5～8)。「第15回全国獅子舞フェスティバル掛川」(11/17,18)が開催、各地のさまざまな獅子が演舞。

【環境日本一を目指しての取り組み】
1人1日当たりのごみ総排出量が全国で一番少ない市「ごみ減量日本一」を達成(10万人以上50万人未満の部)(3/23)、かけがわモデル(太陽光発電施設設置)の社会実験開始(5/23)。

掛川駅木造駅舎保存寄附金が目標5,000万円達成(1/20)、寄附金は当初目標を大きく上回る6,340万円に。木造駅舎を未来につなぐフォーラムを開催(3/21)。

【福祉関連施設がオープン】

- 11 南部大東地域健康医療支援センター「南部大東ふくしあ」が大東支所内にオープン(2/1)、世代間交流施設「原田ふくし館」・「和田岡ふくし館」・「西郷みらい館」が開設(4/1)。

【掛川出身のスポーツ選手が活躍】

- 12 女子ソフトボール日本代表に選出された栗田美穂選手(掛川東中出身)が第13回世界女子ソフトボール選手権大会で優勝に貢献(7/23)、掛川出身の山本篤選手がロンドンパラリンピック走り幅跳び5位入賞(8/31)。プロ野球ドラフト会議で現セガサミー(株)の赤堀大智選手(掛川西高出身)がDeNAベイスターズ4位指名、現愛知工業大学の森下宗選手(掛工高校出身)が広島東洋カープの育成枠指名(10/25)。

- 13 皇太子殿下がご臨席された「第36回全国育樹祭」がエコパで開催(11/11)。

- 14 「希望の丘」構想に、県立特別支援学校、重症心身障害児(者)通所施設、中部ふくしあ、特別養護老人ホームと保育園の複合施設、医療法人社団綾和会による(仮称)掛川東病院などを計画、平成27年度の完了を目指す。

【震災がれきに伴う説明会・視察などを実施】

- 15 地元説明会、市民説明会を開催(4/15～9/18)、東日本大震災被災地を市長他、市役所職員が視察(5/3～5)、焼却場・埋立場関係者が視察(7/10～12)、正副区長・地区区長会長が視察(8/23～25)。

【主要な条例制定の取り組み】

- 16 市民活動日本一に向け「自治基本条例」を11月定例会に上程。議会基本条例案を議員主催で市民との意見交換会を開催(9/24・25・26)。

- 17 119番通報により速く対応する中東遠消防指令センター開設、中東遠5市1町による共同運用開始(4/1)。

【お茶販売促進に貢献】

- 18 プロゴルファーの藤田寛之選手とモーターボートレーサーの重野哲之選手に「掛川お茶大使」を委嘱(2/28、3/1)。「掛川茶ひろめ隊」が岩手県奥州市と秋田県仙北市を訪問(8/20～22)。「お茶のまち掛川」のマスコットキャラクター「茶のみやきんじろう」(愛称:きんじろうくん)をお披露目(10/21)。

【企業誘致が進む】

- 19 JX掛川新工場が起工(2/22)、焼津水産化学工業(株)が新エコポリス用地を取得(6/26)、第1回掛川市企業誘致推進連絡会を開催(8/28)。

- 20 円滑な往来が実現する南北道大東ルート(主)相良大須賀線バイパスが開通(2/17)。開けた街並みとなった二瀬川沿道区画整理完了。

市総合計画審議会が総合計画基本計画を答申(3/6)、第一次掛川市総合計画を見直し、今後5年間の後期基本計画を策定(3/21)。

【原発の安全対策への対応】

浜岡原子力発電所の安全対策を議会、市幹部職員が現地視察(2/8,7/5)、浜岡原発の安全対策を中部電力へ要請(4/19)。

【教育関連施設の充実】

さかがわ幼稚園新園舎完成(2/22)、南郷地域生涯学習センター完成(3/30)、放送大学を図書館内に開設(10/2)。

「人づくり構想」の推進に浅井正人新教育長就任(5/19)、草創期の教育基盤づくりに寄与された杉浦靖彦元教育長退任(5/18)

第2期行財政改革審議会発足、市長の諮問に対する審議がスタート(4/1)。

地震・津波災害に対する危機意識高まる。東北地方太平洋沖地震発生、静岡県大津波警報発令により市内沿岸地区に避難勧告発令(3/11)。南部区域津波避難訓練を実施(5/21)。東海地震に対する防災計画を見直し、海岸地域に海拔表示を設置。岐阜県恵那市と災害時相互応援協定を締結(12/6)。

掛川茶の健康パワーがテレビ番組で放映され全国的なブームに(NHK「ためしてガッテン」(1/12)、TBS「みのもんたの朝ズバッ!」(1/21))。「掛川市緑茶予防医学・健康科学研究所」が市役所内に開所(4/1)。緑茶研究シンポジウム開催(7/30)。掛川深蒸しせん茶が7年連続産地賞受賞、(有)清風園原田地区が農林水産大臣賞を受賞(8/26)。掛川茶ブランド力大いに高まる。

新病院建設工事着工(7/30)、25年春の開院を目指す。新病院名称決定(12/13)。

台風(12号、15号)により市内各地域で災害が発生、長時間の停電・断水被害も。土砂災害警戒の避難勧告発令(9/4倉真・日坂・東山地区、9/21倉真・東山地区)。

東日本大震災の被災地支援。消防・給水救援隊などを派遣、市民が義援金や物資支援活動。復興支援として、奥州市物産フェア開催。避難者を市営住宅等で受入。

浜岡原発全原子炉運転停止を受け市内で省エネ対策・新エネ導入への取り組み進む。「緊急省エネ・節電対策本部」を設置(5/17)。新エネルギーフォーラム開催(11/17)。遠州掛川風力発電所稼働(11/24)。土方幼稚園太陽光発電設備設置(11/29)。

福島原発の事故を受け、放射能汚染の風評被害発生。掛川茶振興協会が放射能調査結果を公表し「掛川茶安心安全宣言」(6/28)。市内全22小学校で空間放射量を測定、結果異常なし(7/8)。

行財政改革推進「市民対話集会」(1/29掛川区域、6/26大須賀区域、10/15大東区域)を開催。行革審最終提言(11/30)。

南北幹線道路大須賀ルートの市道入山瀬線築造工事を開始(10/28)。

自治基本条例を考える市民委員会が2年余りにわたる検討結果の条例素案を市長に答申(10/17)。

- 11 県内初の住民票と印鑑証明書のコンビニ交付サービスを開始(2/7)。
- 12 南部大須賀地域健康医療支援センター「南部大須賀ふくしあ」が大須賀支所内にオープン(10/3)。
- 13 韓国横城郡と姉妹都市提携を調印(11/25)。
- 14 JRと掛川市で掛川駅木造駅舎保存に関する覚書を締結(7/4)。木造駅舎保存の寄附金：11月15日時点、599件、46,512千円余に。
- 15 「掛川市光ファイバ網整備計画」に基づく市内基地局が開局(7/23城東局、8/20大須賀局、8/27大東局、10/1原谷局)。
- 16 市内で初めて「日曜保育」及び「土日学童保育」を実施(7/2～)。夏場の節電対策による自動車関連工場などの土日操業に対応。
- 17 中心市街地活性化ソフト事業への取り組み広がる。「買物サポート車」が運行開始(8/22)。けつら市1周年(10/15)、友引ストリートカフェ。
- 18 第10回「日本の環境首都コンテスト」で参加58自治体中総合第8位と奨励賞を受賞(6/15)。「第2回中部環境先進5市サミットin掛川」を大日本報徳社大講堂で開催(8/11)。
- 19 中央図書館が10周年(6/1)、300万人達成(8/6)。大須賀図書館が20周年(7/20)
- 20 人が咲く、想いが咲く、地域が咲く、原泉地域立森の都「さくら咲く学校」が旧原泉小学校に開校(3/27)。

J A掛川市・J A共済連静岡(3/18)と中遠環境保全(株)(10/11)が高規格救急自動車を寄贈。

第60期将棋王将戦七番勝負第2局を二の丸茶室で開催(1/21～22)。久保利明王将に豊島将之六段が勝利。

タイコエレクトロニクスジャパン合同会社建設工事起工(12/1)。

「掛川市まちづくり塾」開校、第一期生が入塾(4/16)。まちづくりのリーダー育成を主眼に、実践型講義を充実。

観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」が駅構内にオープン(9/29)。出会いと交流、情報を提案。

平成22年 掛川市政10大ニュース

平成22年12月21日
掛川市

- ① 3月、掛川市・袋井市新病院建設基本計画を策定。4月1日、名倉英一氏(新病院長内定者)が掛川市立総合病院院長に就任。6月15日、新病院市民説明会開催。6月24日、新病院建設用地等造成工事安全祈願祭・造成工事に着手し、順調に推移。6月30日、建設基本設計を策定。建設実施設計は平成23年3月完了予定。
 - ② 3月、市内茶園の約7割に及ぶ凍霜害から市では凍霜害対策資金利子補給で支援する。8月27日、第64回全国茶品評会で掛川城南茶業組合が農林水産大臣賞、掛川茶が全国茶品評会において6年連続産地賞受賞。7月30日、第38回関東ブロック茶の共進会で掛川城南茶業組合が2年連続農林水産大臣賞。8月5日、第49回静岡県茶品評会で原田総合製茶が農林水産大臣受賞。11月7日、第1回「お茶のまち掛川」づくりシンポジウム開催。緑茶コホート研究延1200人参加。
 - ③ 10月1日、全国的に先駆けた取り組みである、医療・保健・介護のサービスを総合的に提供することができる支援体制を整備した東部地域健康医療支援センター「東部ふくしあ」オープン。
 - ④ 3月6日、環境を考える市民の集いと環境展を生涯学習センターで開催。4月22日、「STOP温暖化省エネ推進パートナーシップ協定」締結。市と企業が協働して「環境日本一のまちづくり」スタート。4月26日、掛川市の積極的な環境施策が認められ環境首都コンテスト総合10位入賞。6月3日、かけがわ太陽と風、市民・企業のカプロジェクトの設立。11月26日、太陽光発電市内小中学校設置終了。
 - ⑤ 2月22日、掛川駅木造駅舎保存決定し、「木の文化のまち」のシンボルとして、市民募金開始(目標5000万円)3月26日、「第1回掛川駅木造駅舎を未来につなぐフォーラム」を美感ホールで開催。
 - ⑥ 3月14日、北中学校新体育館、三笠幼稚園新園舎が完成。3月21日、原泉小学校閉校式、西郷小学校へ統合。たくさんの笑顔をくれた小学校43年の歴史に幕。
 - ⑦ 4月1日、掛川市のさらなる発展を目指して「掛川市制施行5周年記念式典」を開催し、市政発展に功労があった32人4団体を表彰。5月6～20日、市民意向調査、掛川市が住みやすいと思う市民の割合81.8%
 - ⑧ 2月13日、岩手県奥州市と姉妹都市提携締結。市民ぐるみで交流を盛んに行い、産業・文化・教育などの分野で両市がステップアップしていくことを誓う。
 - ⑨ 「掛川市自治基本条例」の素案策定作業進む。「市民活動日本一」を目指し、市民の参加・協働の仕組みを定めて、市民が主体のまちづくりを推進する基本的ルールをつくるため、自治基本条例を考える市民委員会で白熱した議論が交わされている。
 - ⑩ 7月22日、南北幹線道路大東ルート(全長1660m、事業費14億円)の起点にあたる市道北村線の開通(8月1日)、葛川下俣線開通。
- 11 第1次集中改革プランの成果は5カ年で合計45億8千万円。引き続き第2次集中改革プランとなる「行財政改革方針」及び「改革工程表」が策定される。工程の進行管理は、行財政改革審議会の審議を踏まえて実施。
 - 12 9月13日、青葉台地内で漏水事故発生、8000世帯に影響。
 - 13 韓国横城郡と友好交流がはじまる。横城郡守(9月)、横城郡議長(10月)が来訪。
 - 14 10月16日、県内初の「けっトラ市」開催。生産者と商店街が協働して軽トラック上で農産物等直売。10月31日、「友引カフェ」開催。駅前ストリートを活用しようと中心商店街の青年層が企画。
 - 15 4月22日、「ゆっくり・じゅくり・森づくり・みんながあつまる手づくり公園」掛川らしい里山の景観を楽しむことができる22世紀の丘公園完成。
 - 16 2月10日～11日、第59回将棋王将戦七番勝負第3局が二の丸茶室で開催。羽生善治王将VS久保利明棋王対戦、久保棋王が104手で勝利。
 - 17 4月25日、市内商工団体が掛川市プレミアム買物券「お千代小判」第2弾を販売。3ヶ月で総額2億2千万円の買物券が市内流通した。
 - 18 3月20日、スペシャルトランポリン大会。6月29日～7月3日、世界のトップアスリートが華麗な演技を披露した2010インド・パシフィックトランポリン競技選手権大会(国際大会)がさんりーなで開催。
 - 19 8月21日、大東温泉シートピアが入館者300万人を達成。
 - 20 2月1日、掛川市立総合病院で内視鏡外科センター開設。
- ◎ 9月11日～9月12日、第7回地域SNS全国フォーラムIN掛川が大日本報徳社などで開催。全国から集まった参加者が意見交換や意識を高める。
 - ◎ 1月、誰もが親しみ、誰もが交流できる掛川市総合福祉センターの愛称が「あいりーな」に決定。
 - ◎ 4月25日、市南部から観光情報を発信する南部観光案内所(プラザ大須賀内)開設。
 - ◎ 2月25日、海の幸と山の幸の物産交流や情報交流で、活動の輪を広げようと、「南遠州とうもんの里総合案内所」が「塩田の里交流館」(長野県上田市)と田園の里協定を締結。
 - ◎ 6月6日、歯の健康チェックデー、9月18日、健康づくり講演会、10月17日、健康まつり、健康医療日本一を目指し、市民一丸となって健康づくりを推進。

平成21年 掛川市政10大ニュース

平成21年12月21日
掛川市

- ① 4月19日、掛川市長選挙・掛川市議会議員選挙。
松井市政誕生、新市議24名を選出。7月5日、静岡県知事・掛川市県議会議員補欠選挙の実施。
8月30日、衆議院選挙の実施。10月25日、参議院県選出補欠選挙の実施。
- ② 新病院建設へスタート。1月8日、掛川市・袋井市新病院建設協定書調印式。
4月1日、掛川市・袋井市新病院建設準備会設置。7月17日、掛川市・袋井市新病院建設事務組合設立。
3月18日、新病院用地取得契約締結(土地開発公社)。第2回組合議会で、掛川市と袋井市の建設費負担割合が決定(8/31)。
- ③ 8月11日、駿河湾を震源とするマグニチュード6.5の地震発生(市内では震度4~5弱の揺れを観測)。市役所に災害対策本部設置。被害状況(軽傷者7名、屋根瓦落下等1,229棟、ブロック塀倒壊4件、23,500世帯断水)。
- ④ 新型インフルエンザ国内に感染拡大、市内でも感染者急増。市内小中学校で学級・学年閉鎖相次ぐ。医療救護計画・新型インフルエンザ対策行動計画策定(4月)。
- ⑤ 8月7日、市職員が業務上横領の容疑で逮捕。再発防止対策調査委員会の開催(3回)。9月1日、掛川市の公益通報者保護制度スタート。
- ⑥ 6月4日、静岡県の空の玄関口、富士山静岡空港開港。6月1日、JR掛川駅構内観光案内ブース設置。
- ⑦ 3月27日、県立掛川西高校野球部15年ぶり4回目センバツ出場。一回戦宮城県立利府高校に惜敗。
- ⑧ 「お茶のまち掛川」宣言・「11月8日 お茶の日制定」と「お茶のまち掛川づくり」シンポジウムの開催(11/6)。中山茶業組合「天皇杯」受賞(11/23)。掛川茶が全国茶品評会において5年連続産地賞受賞。静岡県茶品評会で8回連続優秀産地賞受賞、農林水産大臣賞受賞。
- ⑨ 5月30日、国・市登録有形文化財「竹の丸」落成式。NPO法人スローライフ掛川が指定管理者となりオープン。
6月30日、「大日本報徳社大講堂」が国指定重要文化財に指定。
- ⑩ 10月24日~11月8日、国民文化祭しずおか2009開催。市では「お茶フェスタin掛川」「町並みと3城を結ぶアートフェスティバル」「文芸祭・現代詩」が開催。
- 11 12月2日、特定非営利活動法人エコロジーアクション桜が丘の会が地域住民に向けての環境教育および環境保全活動が認められ、地球温暖化防止活動の環境教育・普及啓発部門で、環境大臣表彰受賞。
- 12 連続不審火発生(6/26~10件)、職員による夜間青色回転灯パトロール実施(6/28~8/29 従事者数延べ140人、70回)。10月9日、台風18号上陸、市内でも被害発生(軽傷者1名、各地で停電、倒木、カーブミラー倒壊等)。
- 13 4月1日、在宅輪番制を廃止し、小笠医師会掛川医療センター急患診療室開所。
- 14 11月11日、第1回市民自治活動基本条例を考える市民委員会(委員16名)開催。11月14日、9月議会で条例が可決され、第1回行財政改革審議会(委員10名)開催。
- 15 交通死亡事故ゼロの日連続350日達成(H20.9.23~H21.9.7 県内人口10万人以上の市の新記録)。
- 16 7月10日、木造駅舎の保存についてのフォーラム開催。掛川駅北口木造駅舎について議論深まる。また、掛川駅バリアフリー工事進む。10月8日、掛川駅木造駅舎を保存する会設立準備会発足。
2月、緑茶の生活習慣病予防効果に関する調査研究の試験開始。また、農林水産省の委託を受け、東北大学、市立総合病院、野菜茶業研究所、掛川市が協力して行う「掛川スタディ」開始。平成21年度から3年間で介入試験と大規模コホート調査を実施。
- 17 4月1日、掛川幼稚園・西保育園の閉園と掛川中央幼稚園・葛ヶ丘保育園の開園。7月17日、三笠幼稚園の建設着工、北中学校体育館建設着工。
- 18 9月19日から11月23日、浜松モザイクカルチャー世界博2009に出展。「浜松モザイクカルチャー世界博2009協会理事長賞」および「3D優秀賞・銅賞」のダブル受賞。
- 19 3月27日、掛川市中心市街地活性化基本計画が内閣総理大臣の認定を受ける。都市計画マスタープラン策定(5月)。
- ◎ 10月9~12日、3年に1度の掛川大祭の開催。「お祭り広場は人・人・人」 奴道中、大獅子、かんからまち優雅に舞う。
- ◎ 1月17日、二の丸茶室入館者10万人達成。4月3日、22世紀の丘公園遊びの里が開園。4月3日、埋蔵文化財センターオープン。
- ◎ 4月26日、掛川・新茶マラソン開催・県内外から7,000人が参加。8月19日、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会に1300人が参加。9月19~22日、日本スポーツマスターズ2009男子ソフトボール競技開催。
- ◎ 9月15日発表、「一人一日当たりのごみ総排出量」の人口規模別(10万人以上50万人未満)で全国4位となる。
- ◎ 10月1日、多文化共生による緊急かつ人道支援策により、ブラジル人学校「ムンドノボ」を旧板沢老人ホーム施設で支援。

平成20年 掛川市政10大ニュース

平成20年12月19日
掛川市

- ① 掛川市・袋井市新病院建設協議会で新病院基本構想を策定。新病院建設予定地(最適地:下俣・長谷地内、適地:高御所・領家地内)が決まる。
 - ② 一般農道掛川高瀬線が開通。当線開通により南部からの交通渋滞が大幅に緩和(3/25)。第4回掛川市南北幹線道路整備促進市民大会(9/8)。
 - ③ 掛川市が「循環・共生・参加まちづくりの環境大臣表彰」を受賞(3/26)。市民協力により9.7%減量達成(6月統計)。大東・大須賀地域のごみが満水の環境資源ギャラリーで処理統合開始(4/1)。
 - ④ 伊藤和也さんがアフガニスタンで拉致、殺害。市内杉谷南出身の伊藤さんを偲ぶ写真展を市役所で開催(11/14～24)来場者7,614人。
 - ⑤ 7月臨時会で議員定数を24人に定める条例を可決。11月定例会から議会インターネット中継を開始(11/28～)。
 - ⑥ 大須賀支所・市民交流センターが新設オープン。合わせて大東支所にも市民交流センターがオープン(4/1)。
 - ⑦ 福祉活動の拠点「総合福祉センター」が旧東高跡地にオープン。社会福祉協議会、シルバー人材センター、心身障害児学童保育所「かざぐるま」など新拠点で活動開始(10/1)。
 - ⑧ 大東区域および大須賀区域への都市計画税の課税。上下水道料金が市内統一(4/1～)。
 - ⑨ 掛川茶・農業振興の功績。掛川茶が、全国茶品評会で4年連続産地賞。静岡県茶品評会で7年連続優秀産地賞を受賞。掛川茶3大品評会「農林水産大臣賞」受賞(8月)。NPO法人とうもの会が協働による農山村づくりで県知事賞受賞(1/22)。
 - ⑩ 掛川西高校野球部秋季東海大会準優勝(11/2)。来春の選抜高校野球大会への出場がほぼ確定。(春は15年ぶり・4回目)
- 11 地球温暖化対策を市役所から行動発信。毎月第3水曜日を「市役所職員によるノーカー通勤デー」や「マイ箸運動」、公用車4台への「バイオディーゼル燃料(BDF)」の活用、「緑のエコカーテン事業」の実施を6月にスタート。
 - 12 全国報徳サミット掛川市大会を生涯学習センターで開催(10/26)。大日本報徳社大講堂修復落慶式(1/31)。
 - 13 路線バス西循環線が運行開始。掛川バスサービス路線および東循環線が対キロ料金から200円～300円に料金改定(11/1～)。
 - 14 子育てセンター「さやのもり」オープン。5つ目の幼保園(4/1)。完成(3/6)。曾我幼稚園閉園(3/20)。掛川中央幼保園建設工事安全祈願祭(6/12)。
 - 15 北京パラリンピックで山本篤さんと河合純一さんがメダル獲得。市内吉岡出身の山本篤さんが走り幅跳びで銀メダル。市内勤務の河合純一さんが水泳で銀メダル、銅メダル。北京オリンピックに市民応援団派遣(8/15～21)。
 - 16 証明書自動交付機設置、本庁(8/4)、大東北公民館(11/4)。旅券(パスポート)発給事務開始(9/1～)。
 - 17 掛川市の国土利用計画(H20.3)など策定。掛川市農業振興地域整備計画策定(H20.8)。掛川市観光基本計画策定(H20.4)。掛川市茶業振興計画策定(H20.11)。健康増進計画・食育推進計画策定(H20.3)。掛川市水道ビジョン策定(H20.3)。
 - 18 新幹線掛川駅開設20周年記念式典開催(3/23)。二の丸美術館開館10周年・入館者50万人達成(8/23)。吉岡弥生記念館が開館10周年・入館者5万人達成(9/3)。
 - 19 富士山静岡空港の開港間近。地域振興策(案)に沿って表玄関掛川のPR開始(PR名刺作成など)、リムジンバスの運行、掛川駅の活用について協議する。
 - 20 大東温泉シートピア入館者250万人達成(8/14)。大東温泉シートピアの料金を改定、大人500円(従前950円)、子ども250円(4/1～)。中央図書館来館者200万人達成(5/11)。大東図書館来館者10万人達成(5/25)。
- ◎ 平成23年度完成に向けて、駅前東街区市街地再開発事業の事業計画概要(案)公表(11/20)。
 - ◎ 日本人のブラジル移住100周年を記念して、移民の父故平野運平氏の胸像が生涯学習センター敷地内に建設(6/18)。中華人民共和国河南省許昌市と友好交流、協力関係を締結(8/20)。
 - ◎ 頑張る地方応援プログラムで掛川城戦国伝説など26事業実施(11/1～)。同事業により「掛川いも汁」市内20店舗で販売開始(4/1～)。
 - ◎ 北海道・青森県・秋田県で新卒高校生の就労者確保のため企業説明会を開催。市内企業へ6人が採用内定(7/16～18)。

(投票)掛川市(市長、副市長、教育長、職員)、掛川市議会、区長連合会、掛川農協、夢咲農協、掛川商工会議所、大東商工会、大須賀商工会、掛川記者クラブ、市HP

平成19年 掛川市政10大ニュース

平成19年12月21日
掛川市

- ① 病院の統合問題を検討するため袋井市との連携協議がはじまる。
「掛川市・袋井市新病院建設協議準備会事務局」(11/1)、同協議会開設(12/21)
同協議会(両市長、両市議会、有識者など36委員により構成)が初会合を開催(12/26)
 - ② 第1次掛川市総合計画(2007～2016)基本構想を策定(3/23)
4つの基本理念を骨格に ①連携と交流 ②生涯学習と価値創造 ③協働と持続的発展 ④健康と豊かさ
 - ③ 南部の文化拠点・大東図書館オープン、約7万点の図書と生涯学習ホール、郷土ゆかりの部屋を併設(4/1)
中央図書館が「子ども読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰」を受賞(4/23)
県内初「かけがわ教育の日」が開催。池田守男教育再生会議座長の講演会とパネルディスカッション(11/17)
 - ④ ごみ減量化と地球温暖化対策として「掛川市ごみ減量大作戦」を展開。
市民と事業者の協力により目標の「燃えるごみ7%減量」を達成。
 - ⑤ さまざまな都市宣言と憲章を制定 市の花・木・鳥、「ききょう」・「きんもくせい」・「うぐいす」(1/23)
非核平和都市宣言(3/23) 掛川市民憲章制定(7/4) 掛川市生涯学習都市宣言(12/21)
 - ⑥ 新たな健康・交流の場として、コミュニティセンター「たまり～な」が満水地区22世紀の丘公園にオープン(5/2)口
 - ⑦ マイバッグ運動の浸透を図り①消費者②事業者③掛川市の協働により5社9店舗でレジ袋有料化を開始(6/1)
掛川区域すべての食品スーパー10社13店舗に拡大、マイバッグ持参率90%を超える(12月)
 - ⑧ 市民総ぐるみで安全・安心運動が進む 区長会連合会が「飲酒運転根絶市民相互の誓い署名」48,871人分を
市長に寄託(1/19) 掛川市安全安心まちづくり推進市民大会(7/31) 掛川市交通安全市民大会(9/26)
 - ⑨ 掛川市が第46回静岡県茶品評会で6回連続「優良産地賞」、第61回全国茶品評会で3年連続「産地賞」を受賞。
第35回関東ブロック茶で中山茶業組合、第46回県茶品評会で富士東製茶組合が、それぞれ農林水産大臣賞。
 - ⑩ 中心市街地の活性化を図り、商工会議所とまちづくり(株)で「掛川市中心市街地活性化協議会」設立(1/15)
掛川市中心市街地活性化基本計画書(案)内閣官房へ提出(10/8)
- 11 大須賀区域のコミュニティの中心として、市民のボランティア活動を支援する大須賀市民交流センター起工(7/6)
 - 12 平成20年度からの都市計画税課税について、大東・大須賀区域26地区で地区説明会を開催(11/5～)
上下水道料金懇話会が意見書を提出。上下水道料金は平成20年4月1日から市内統一
 - 13 「道の駅・掛川」下り線進入路が開通(1/31) 利用客が大幅に増。地元農産物販売額も急増。
 - 14 「戦国の館・掛川」オープン(1/27～12/24) 周辺広場では楽市、音楽通り2007などイベント開催。
「千代と一豊・掛川館」から通算367,000人が入館。掛川城天守閣開門(H6)以来の250万人の登城者を達成(12/2)
 - 15 掛川市・菊川市・御前崎市・牧之原市の4市で東遠工業用水企業団が発足(1/9)
東遠工業用水道が給水を開始(4/1)
 - 16 コミュニティバス東循環線の運行はじまる。掛川・中・横須賀線も石津西バス停まで路線延長(4/1)
 - 17 幼保再編計画順調に 市内4か所目の幼保園「こども広場あんり」開園。幼稚園180人、保育園120人(4/1)口
 - 18 介護老人福祉施設「掛川福祉ノ郷」(3/12)と老人保健施設「えいせい掛川」(4/25)が上西郷地区に開設。
焼津市以西では、人口10万人あたりの介護ベッド数が第2位に(10万人あたり 812ベッド)
 - 19 平成24年度末供用開始の第2東名高速ICを活用した街づくりについて森町と合同協議はじまる。
第1回森・掛川新東名サミット開催(7/11)
 - 20 ブラジル県人会創立50周年記念式典、市長、議長ら7人参加、平野運平氏の偉業の地訪問(8/16～25)
友好訪問 姉妹都市米国ユージン市とコーニング市を訪問(10/15～21)
- ◎ 春の叙勲で元大東町長杉浦徳雄氏が「旭日双光章」を受章。また、元助役大倉重信氏が総務大臣表彰。
 - ◎ 東名I-C周辺(H5～)と上屋敷・西郷(H4～)の2つの土地区画整理組合解散に伴う合同竣工式典を開催(3/25)
 - ◎ 掛川城周辺で国民保護緊急対処事態訓練を実施(2/20)。訓練結果を検証し掛川市国民保護計画を策定(3/30)
 - ◎ 城北～宮脇・千羽地内およそ4km、幅200メートルで深夜に突風発生。約100か所被害(4/14)
 - ◎ 上内田水質保全センター通水開始 対象戸数524戸、計画処理人口2,600人(6/1)
 - ◎ 東京都千代田区で行われた江戸天下祭「山車・神輿順業」に横須賀地区の祢里(大工町・西新町)が参加(9/29・30)
 - ◎ 市立総合病院の質の高い医療の提供と役割をPR。「第1回病院祭り」に市民3,500人が集まる(10/14)

平成18年 かけがわ市政10大ニュース

平成18年12月22日
掛川市

- ① NHK大河ドラマ「功名が辻」放映効果により掛川城周辺が賑わう
「千代と一豊・掛川館」オープン(1/21~12/17)、入館者30万人を達成(12/2)
- ② ねんりんピック静岡2006総合開会式(エコパ)で仁藤の大獅子が舞う(10/28)
ソフトボール交流大会(10/29~31)において、掛川シニアが優勝(いこいの広場)
- ③ 工業出荷額が1兆4千億円で県下第4位に ①浜松市②磐田市③静岡市
(平成17年工業統計調査)
- ④ 掛川市が、初の普通交付税の不交付団体となる(合併特例により算定)
- ⑤ 掛川市の救急医療体制を守るため、小笠医師会の協力により、夜間当番医の増員と開業時間を延長 (10/1)
- ⑥ 路線バス 掛川・中・横須賀線の運行開始(4/1)
大東中地区経由で大須賀地域から、掛川駅・市立総合病院へ直行バスを運行
- ⑦ 市内すべての小・中学校(32校)で2学期制を実施(4/1)
- ⑧ 市立桜木幼稚園(3/19)、上内田幼稚園(3/21)、つくし保育園(3/26)の3園が閉園
子育てセンターひだまり(杉谷)と掛川こども園(家代の里)が開園
- ⑨ 転入・転出の異動届や各種証明書の申請と受領を1か所で行う「総合窓口」を市民課で開始
(11/6)
- ⑩ 警察パトカーと同色の白黒塗装「防犯・交通安全・災害パトロール」を14台配置、青色回転灯を点灯して、小・中学校の下校時間にあわせた市内パトロールが始まる(6/6)
- 11 大倉重信助役が退任(6/1)、以降助役は空席に
佐藤忠夫教育長が退任(7/10)、後任に杉浦靖彦氏が教育長に就任(7/11)
- 12 市民総代会中央集会で、ふるさと親善大使委嘱及び掛川市歌発表式が行われる(5/13)
- 13 長谷土地区画整理竣工式(4/15) 東名掛川IC周辺土地地区画整理換地処分(9/15)
上屋敷・西郷土地地区画整理換地処分(10/20) 宮脇秋葉線一部開通(6/2)
掛川市が2年連続で全国茶品評会産地賞を受賞(8/25)
- 14 「日本ばら切花品評会」、「温室メロン品評会」、「全国茶品評会」、各種品評会で農林水産大臣賞受賞
丸山製茶が国際品評会「モンドセレクション」で日本茶初の金賞受賞(7/7)
- 15 大東温泉シートピア入館者200万人(6/16) 掛川中央図書館入館者150万人(8/29)
ならここ温泉30万人(10/29)
- 16 秋の叙勲で、元掛川市長 榛村純一氏が「旭日中綬章」を授章
また、元掛川市教育長 木曾忠義氏が「瑞宝双光章」を受章
掛川大祭、仁藤の大獅子、瓦町のかんからまち、西町の奴道中三大余興登場(10/6~7)
- 17 第8回遠州横須賀街道ちっちゃな文化展22,000人の人で賑わう(10/20~22)
いとくり通りストリートパフォーマンス”MATSURI”8,000人の人が集まる
- 18 第1回掛川新茶マラソンが開催 新緑の掛川路を4,000人が力走
中心市街地の西町・中町・連雀通りがマラソンコースに (4/16)
- 19 下小笠川捷水路(しょうすいろ)事業完成式典 着工から20年 L=1,600m(3/23)
- 20 川西隆由樹さん(さんりーな勤務)がトランポリンワールドカップ(ロシア)・男子シנקロナイスト競技で優勝(5/3)
第12回全日本トランポリントーナメント競技選手権大会がさんりーなで開催 (11/24~26)

◎連雀パーキング開業(1/17)

◎掛川警察署新庁舎が宮脇に移転し、業務開始(3/13)

◎出生祝い金制度(4/1)と子育て優待カード事業(9/1)

◎中心市街地空き店舗、市民交流の場「掛川座」として復活

◎原発市民懇談会3会場で開かれる(掛川 4/19 大東 5/17 大須賀 6/14)

◎全庁体制による市税等収納対策事業(5/15~6/9)

◎農業活性化やる気塾本部塾設立(6/16)

◎掛川市民大学校、初代大学生として30名が入学(6/17)

◎東中野球部が全日本少年軟式野球大会に出場(8/14)

◎静フィル・掛オケジョイントコンサート合同演奏会(9/2)

◎31年振りにつま恋で拓郎&かがや姫コンサート35,000人集う(9/23)

◎大東・大須賀区域のごみ処理の統合を、正式に菊川市に申し入れ(10/25)

◎地域SNS「eじゃん・掛川」が開設(11/3)

◎上下水道料金懇話会を設立、料金統一の計画作業に着手(11/30)